

意志動詞・無意志動詞

2021.9.19

国分芳宏

自動詞・他動詞という分類法は英語などの外来語での分類法を日本語に導入したものです。日本語の動詞の分類には適当ではありません。代わりに**意志動詞・無意志動詞**という分類法を提案します。ネットには他動詞と自動詞とを対応させた表がいくつかあります。「行く」のような移動性の動詞を除いて他動詞は意志動詞に、自動詞は無意志動詞にメンバー的にはほぼ一致しています。

他動詞	意志動詞	自動詞	無意志動詞
	上げる		上がる
	伸ばす		伸びる

しかし意志動詞・無意志動詞の性質は動詞に固定的なものではありません。どんな使い方をするかによって変わります。

話者の意図的に行われる動作でないときは無意志動詞になります。

意志動詞になる例	無意志動詞になる例
私が食べる	彼が食べる
道を曲がる	棒が曲がる
大空を舞う	ほこりが舞う

意志動詞

行為者の意志によりその行為をできる動詞です。

例 する、歩く、読む、食べる、流す、砕く、裂く、閉める、始める
意志動詞の特徴を述べます。

- * 命令形、勧誘表現などの意志表現があります。
- * 受身・可能・尊敬・自発の形があります。
- * 使役動詞は意志動詞です。
- * 意志推量の助動詞「よう」のついた形は意思になります。

例 食べよう

無意志動詞

行為者の意志がその動作に及ばないものです。事象が主語になります。使用法にいくつかの制限があります。

例 なる、生まれる、碎ける、裂ける、閉まる、始まる、曲がる、変わる、
効く、分かる、出来る、聞こえる、見える

無意志動詞の特徴を述べます。

* 命令形、禁止、依頼、勧誘などの意志表現がありません。

* 受身・可能・尊敬・自発の形がありません。

* 意志推量の助動詞「よう」のついた形が推量になります。

例 生まれよう

* 「お（和語動詞連用形）する」のような謙譲表現が許されません。

例 × お生まれする

和語動詞とは、五段動詞、一段動詞、語幹が一文字からなるサ変動詞をいいます。

例 読む（五段動詞）、見る（一段動詞）、察する（語幹が一文字のサ変動詞）

* 希望の助動詞「たい」がつきません。

* 補助動詞は意志動詞にしか付きません。ただし、「直前」の列に「無意志動詞」と書いてある補助動詞は無意志動詞にもつきます。

意思動詞・無意志動詞の機能の対比を表にまとめます

	意志動詞	無意志動詞	助動詞
否定疑問	勧誘	否定疑問	
意志推量の助動詞「よう」	意志	推量	
命令形	○	×	
禁止、依頼、勧誘	○	×	
意志の助動詞	○	×	(さ) せる
無意志の助動詞	○	×	(ら) れる
希望の助動詞	たい	たがる	
和語動詞 の謙譲表現	○	×	

直後に来る動詞が意志動詞か、無意志動詞かが推定できる副詞があります。

意志動詞に係る副詞

例 自ら、意図的に、ひたすら、引き続き、現在でも、心から、決して、それにしても、必ず、だんぜん、やっぱり、でも

補助動詞の表

かっこに包まれた表記はぞんざいな言い方のときの形です。

	直前	意味	補助動詞がついた結果
てあげる	意思	授与	意思
である	意思	完了	無意思
ていく (てく、てった)	意思	行動	意思
ていける (てける)	意思	可能	無意思
ていただく	意思	依頼	無意思動詞
ていらっしゃる (てらっしゃる)	意思	尊敬	無意思
ている (てて、てる)	意思、無意思	進行中	無意思
ておく (とく)	意思	完了	意思
ておくれ (とくれ)	意思	依頼	無意思
ておる (とる)	意思、無意思	進行中	無意思
てかまわない	意思	許可	無無意志
てくださる	意思	尊敬	無意思
てくる	意思、無意思	終了	無意思
てくれる (てくれ)	意思	依頼	意思
てございます	意思、無意思	尊敬	無意思
てごめん	意思	謝罪	意思
てごらん	意思	勧誘	意思
てさしあげる	意思	提供	意思
てしかたがない	意思	忍耐	無意志
てしまう (ちゃう、ちまう)	無意思	完了	意思
てしょうがない	意思	忍耐	無意志
てたまらない	意思	忍耐	無意志
てならない	意思、無意思	忍耐」	無意志
てたまわる	意思	広域化	意思
てみえる	意思、無意思	尊敬	無無意志
てみせる	意思	展示	意思
てみる	意思	試行	意思
てもらう	意思	依頼	意思
てやがる	意思	非1人称	無意志
てやる	意思	授与	意思
てよこす	意思	非1人称	無意思

・意志の助動詞・無意志の助動詞

「(さ) せる」を「意志の助動詞」とします。

「(ら) れる」を「無意志の助動詞」とします。

これらの助動詞は原則として意志動詞にだけ付き、無意志動詞には付きません。

	意志の助動詞	無意志の助動詞
広げる	意志動詞	○広げさせる ○広げられる
広がる	無意志動詞	×広がさせる ×広がる

五段動詞の可能形(無意志形)にも付きません。

書く	可能形	×書けさせる ×書けられる
----	-----	---------------

助動詞「(ら) れる」学校文法では受身、可能、尊敬、自発と分けてありますが、これは英語などの外来語での分類法に対応させたもので、**意志の助動詞・無意志の助動詞**という分類法にすればすっきりします。

意志の助動詞が付いた後ろには無意志の助動詞が付きます。これは「使役受け身」と呼ばれています。

書かせられる	五段動詞
食べさせられる	一段動詞

しかし下記のように主観的な無意志動詞が意志動詞の助動詞・無意志動詞の助動詞をとる例外もあります。

困る	困らせる
忘れる	忘れられない
悩む	悩ませる

・名詞、形容詞動詞の意志動詞用法・無意志動詞用法

名詞、形容動詞、形容詞も「する」と「なる」を付けて意志動詞・無意志動詞とする用法があります。

	名詞	形容動詞	形容詞
意志動詞用法	運動をする	元気にする	青くする
無意志動詞用法	運動になる	元気になる	青くなる

・意志動詞・無意志動詞が否定を伴った疑問文

否定を伴った疑問文の意味が意志動詞・無意志動詞とで異なります。意志動詞のときは勧誘に、無意志動詞のときは否定疑問になります。

その結果「はい」と答えたときの意味も変わります。

			答え	意味
飲まないか	意志動詞	勧誘	はい	飲む
飲めないか	無意志動詞	否定疑問	はい	飲めない

このような弁別は自動詞・他動詞の分類ではできません。この意味でも意志動詞・無意志動詞の分類法は有効です。

参考文献

- 国分芳宏 日本語解析
金谷武洋 日本語文法の謎を解く ちくま新書
森山卓郎 渋谷勝己 明解日本語学辞典 三省堂